

活動状況報告書（2月分）

学生留学コース 樋谷 賢太

バレンシアは2月になってすっかりと暑くなりました。この活動報告書を書いている2/29は30度まで気温が高くなりました(写真1)。一方で風が強いので気温ほどは暑く感じないのが唯一の救いです。スペインの生活もだいぶ慣れてきました。スペイン料理も色々食べました。日本で有名なものとアヒージョ、生ハム、パエリアなどがありますが、パエリアがやはり私は一番好きです。スペインではお米を白米として食べることは文化的に無く、パエリアのように味をつけて食べる人が多いです。日本のお米とは違って水分が少ないのが特徴で、日本で食べるパエリアとは味も食感も違うので是非スペインに来た際は試してください。学食でもパエリアがたまに出ます(写真2)。

研究も順調に進んでいます。3月末には帰国する予定なので、現在は終わっていない実験を行うのに追われています。先月トルコから来た研究員のGlauとサウロ教授と三人で写真を撮りました(写真3)。Glauは研究員だと聞いていたのですが日本でいう准教授らしいです。日本の歯学部の場合は、それぞれの教室が教授1人、准教授1人、講師1人、助教が3、4人、その下に医員、大学院生と続くことを考えれば、准教授はかなり上の存在ですが、一方トルコでは准教授は3人も一つの教室にいるらしく、国によって制度も大きく異なるなと感じました。

毎年、北海道大学ではサマーインスティテュートというイベントを行っています。端的に説明すると海外の夏休み期間に、著名な先生を北海道大学に招待して講義をしていただき、国際交流を深めるのと同時に、最先端の研究を紹介していただき、学ことが目的です。幸いにも私のスペインの指導教授のサウロ先生が今年の夏に北海道大学に講義に来ていただけることになりました(写真4)。サウロ先生は日本のことが大好きで初めて会った時から、いつか日本に来たいと言っていたので、無事来られて私も嬉しいです。初めて私がサウロ先生に会った時に、サムライの刺青を入れるか迷っていると言われ時は、驚きました。イタリア式のジョークかもしれません…スペインでは日本文化の人气がすごいです。電車にはポケモンカードを持った小学生とアニメTシャツを着た若者で溢れています。日本人として誇りに感じました。

残り1ヶ月も全力で頑張ります！

写真1



写真2



写真 3

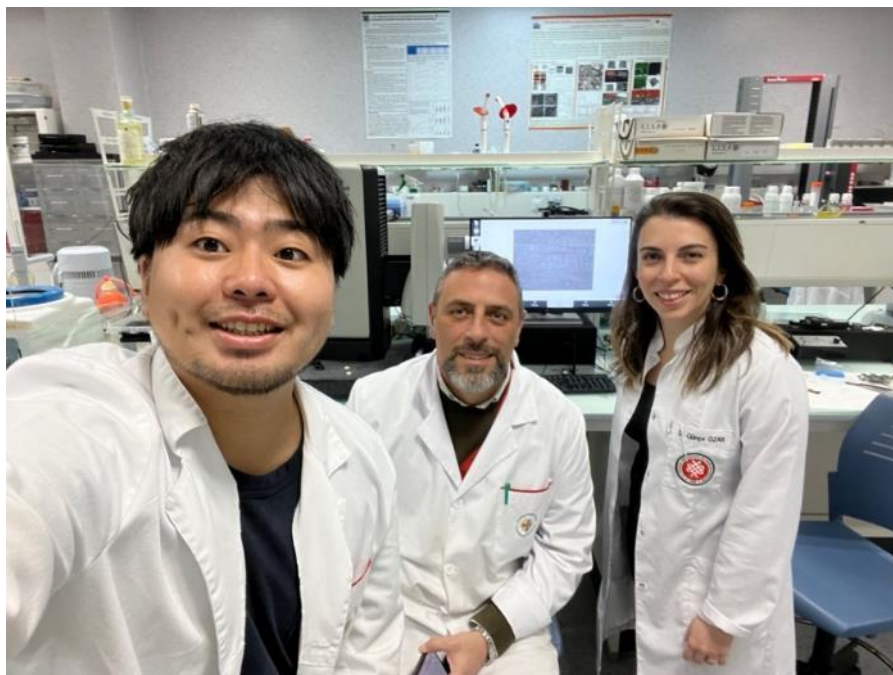




写真 4


HOKKAIDO 2024
SUMMER
INSTITUTE 4

Faculty of Dental Medicine
Department of Restorative Dentistry

● Schedule ●
22 – 26th July

A adhesive dentistry
& Endodontics development

 Prof. Salvatore Sauro
 Prof. James Tsoi

 HOKKAIDO UNIVERSITY
FOUNDED 1876